

月桂樹

(愛称)

(正式名称) 高金利先進国債券オープン(毎月分配型)



ファンドの概要

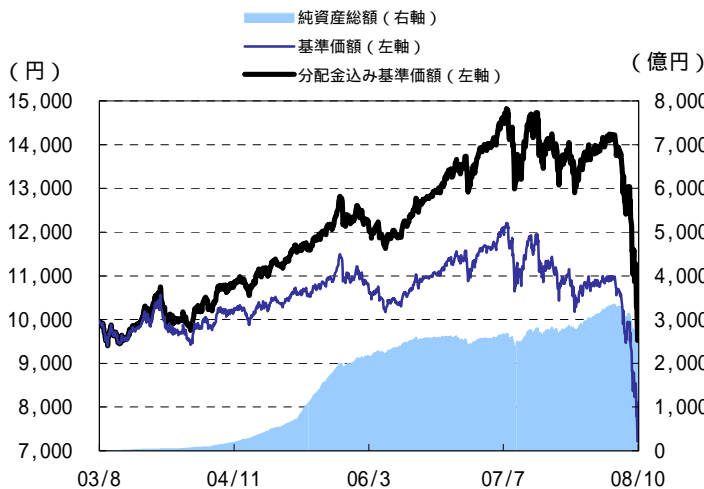
設定日：2003年8月5日 償還日：無期限
 決算日：原則毎月10日 収益分配：決算日毎

- 【ファンドの特色】
1. 格付が高く、相対的に高金利のソブリン債に投資します。
 2. 原則として、毎月、安定した収益分配を行なうことをめざします。

運用実績

このレポートでは基準価額および分配金を1万口当たりで表示しています。このレポートのグラフ、数値等は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

< 基準価額の推移 >



分配金込み基準価額は、分配金(税引前)を再投資したものを表示しています。基準価額は、信託報酬(年率1.3125%(税抜1.25%))控除後の値です。

基準価額：7,977円
 純資産総額：2,528.62億円
 (マザーファンド：3,505.57億円)

< 基準価額の騰落率 >

1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年	設定来
-15.46%	-25.91%	-22.83%	-27.66%	-13.21%	5.30%

基準価額の騰落率は、分配金(税引前)を再投資し計算しています。

< 分配金実績(税引前)と決算日の基準価額 >

	分配金	基準価額		分配金	基準価額
設定来合計	2,950円		08・4・10	60円	10,626円
直近12期計	720円		08・5・12	60円	10,655円
07・11・12	60円	11,324円	08・6・10	60円	10,820円
07・12・10	60円	11,234円	08・7・10	60円	10,889円
08・1・10	60円	11,116円	08・8・11	60円	10,725円
08・2・12	60円	10,818円	08・9・10	60円	9,781円
08・3・10	60円	10,681円	08・10・10	60円	8,358円

運用コメント

【国別概況】

(オーストラリア)債券利回りは、「質への逃避」の一服や株価の反発から、中旬や月末にかけて上昇に転じる場面もありましたが、RBA(オーストラリア準備銀行)の利下げ観測および予想外の大幅な利下げなどを背景に、低下基調となりました。オーストラリアドルは、商品価格の下落傾向や利下げを受けて、上旬に急落しました。下旬には、投資家のリスク資産圧縮の動きや金利先安観などから大幅に下落しました。月末にかけては対円でやや値を戻しましたが、10年国債利回り5.23%(前月5.66%) オーストラリアドル65.65円(前月82.87円)

(ニュージーランド)債券利回りは、月半ばにかけて欧米各国の金融危機対策を受けて安全資産としての債券買いの動きが一服したことなどから、長期債中心に大きく水準を切り上げました。その後、RBNZ(ニュージーランド準備銀行)が大幅な利下げを実施したことから、利回りは低下基調となりましたが、月末にかけては、世界的な株価反発を受けて上昇に転じました。ニュージーランドドルは、投資家のリスク回避姿勢が強まるなか高金利通貨が大きく売られたため、上旬に急落しました。下旬には、利下げを受けて下げ幅が拡大しましたが、月末にかけては対円でやや値を戻しました。10年国債利回り6.00%(前月5.72%) ニュージーランドドル57.75円(前月69.38円)

(ノルウェー)債券利回りは、欧州圏での金融不安等を背景に上旬に低下しました。月半ばにかけては、9月のインフレ率の予想外の上振れ等から長期債を中心に利回りは大幅に上昇しました。その後はノルウェー中央銀行が2回にわたり利下げを実施したことから、利回りは低下基調をたどりました。ノルウェークローネは、欧州圏の金融不安や商品価格の下落傾向、ノルウェー中央銀行の連続利下げなどを受けて大幅に下落しました。10年国債利回り4.30%(前月4.26%) ノルウェークローネ14.72円(前月17.85円)

(デンマーク)債券利回りは低下基調で始まりましたが、デンマーク中央銀行が利上げを実施したことで急上昇しました。月半ばにかけては金融不安が和らぐなか、利回りは一段と水準を切り上げましたが、その後は景気の先行き不安などから、再び低下基調となりました。デンマーククローネは、欧州圏の金融不安などを背景とした急激な円高/ユーロ安の流れから、下旬には対円で大幅に下落しました。月末にかけては対円でやや値を戻しました。10年国債利回り4.46%(前月4.27%) デンマーククローネ16.91円(前月19.99円)

(アメリカ)債券利回りは上旬に低下しましたが、月半ばにかけては、欧米の主要中央銀行による協調利下げや、米大手金融機関への公的資本注入の発表などを受けて金融不安が和らいだため、長期債中心に利回りは大きく水準を切り上げました。その後、世界的な景気後退懸念や低調な企業業績を嫌気した米国株式市場の急落などを背景に、利回りは低下基調となりましたが、月末にかけては再び上昇に転じました。アメリカドルは、金融不安の拡大や世界経済の減速懸念を背景に円高/アメリカドル安が進みました。下旬には、世界的な株価下落などを背景に為替市場全般で円高が加速しましたが、月末にかけては対円でやや値を戻しました。10年国債利回り3.97%(前月3.58%) アメリカドル98.40円(前月103.57円)

【当月の投資行動】

投資国は、オーストラリア、ノルウェー、ニュージーランド、デンマーク、アメリカの5ヵ国としました。各国の投資比率を若干調整しました。

【今後の投資方針】

11月は現状の投資比率を概ね維持する予定ですが、ノルウェーとアメリカの比率の若干の変更を検討します。また、デュレーションについては国別に調整しますが、ポートフォリオ全体としては現在のデュレーションを維持する方針です。

投資信託は、値動きのある資産(外貨建資産は為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。後述のリスク情報とその他の留意事項をよくお読みください。

当資料は、日興アセットマネジメントが当ファンドの投資信託説明書(交付目論見書)を補足することなどを目的とし、投資家の皆様に当ファンドへのご理解を高めていただくために作成した販売用資料です。

月桂樹

ポートフォリオの内容

<資産構成比>

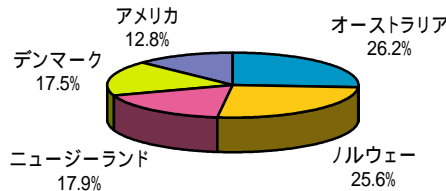
公社債	96.1%
うち現物	96.1%
うち先物	0.0%
現金その他	3.9%

<利回り等>

平均クーポン	6.58%
平均直接利回り	5.85%
平均最終利回り	4.89%
平均デュレーション	4.7年
平均残存期間	6.1年

上記は個別債券について加重平均したものです。直接利回りは、債券の時価価格に対する1年間に受け取る利息の割合を表したものです。最終利回りは、債券を満期まで保有した場合の利回りです。各利回りは、将来得られる期待利回りを示すものではありません。

<債券国別投資比率>



<実質通貨別投資比率>

通貨	比率
1 オーストラリアドル	25.6%
2 ノルウェークローネ	25.4%
3 デンマーククローネ	17.6%
4 ニュージーランドドル	17.5%
5 アメリカドル	13.4%

為替ヘッジは原則として行なっておりません。

<債券格付別構成比率>

A a a	100.0%
A a	0.0%
A 以下	0.0%
無格付	0.0%

格付は、ムーディーズ社によるものを原則としています。

<債券セクター別構成比率>

国債	48.1%
地方債	1.4%
政府保証債等	50.5%
その他	0.0%

<債券組入上位10銘柄> (組入銘柄数: 81銘柄)

銘柄	クーポン(%)	償還日	通貨	格付	比率
1 ノルウェー国債	6.5	13/5/15	ノルウェークローネ	Aaa	8.5%
2 ノルウェー国債	5	15/5/15	ノルウェークローネ	Aaa	8.5%
3 デンマーク国債	7	24/11/10	デンマーククローネ	Aaa	6.5%
4 ノルウェー地方金融公社 (KBN)	10.5	15/3/6	オーストラリアドル	Aaa	4.9%
5 デンマーク国債	4	17/11/15	デンマーククローネ	Aaa	3.7%
6 デンマーク国債	5	13/11/15	デンマーククローネ	Aaa	3.6%
7 デンマーク国債	4	15/11/15	デンマーククローネ	Aaa	3.2%
8 オランダ自治体金融公庫 (BNG)	10.5	15/3/7	ニュージーランドドル	Aaa	2.7%
9 ノルウェー国債	4.25	17/5/19	ノルウェークローネ	Aaa	2.3%
10 欧州復興開発銀行 (EBRD)	9.5	10/7/29	ニュージーランドドル	Aaa	2.2%

「債券国別投資比率」、「利回り等」、「債券セクター別構成比率」、「債券格付別構成比率」、「債券組入上位10銘柄」は、マザーファンドの状況です。

「債券国別投資比率」、「債券セクター別構成比率」、「債券格付別構成比率」、「債券組入上位10銘柄」は、対組入債券評価額の比率です。

「資産構成比」、「実質通貨別投資比率」は、マザーファンドを考慮した実質の値であり、対純資産総額の比率です。

「実質通貨別投資比率」は外貨建資産の実質的な通貨別の投資比率です。

2007年1月末より銘柄名称を一部アルファベット表記にしています。

<基準価額変動の要因(直近1ヵ月)>

国	債券要因	内訳		為替要因	信託報酬等 要因	収益分配金 要因
		インカム	キャピタル			
オーストラリア	75円	12円	63円	-530円	/	/
ニュージーランド	21円	10円	11円	-277円		
ノルウェー	54円	10円	44円	-459円		
デンマーク	-20円	6円	-26円	-253円		
アメリカ	-17円	5円	-22円	-50円		
小計	112円	42円	70円	-1569円		
各要因合計: 債券 + 為替 + 信託報酬等 + 収益分配金 =						-1527円

上記の要因分析は概算値であり、実際の基準価額の変動を正確に説明するものではありません。傾向を知るための目安としてご覧下さい。

インカムとは、利子などから得られる収益です。

キャピタルとは、金利変動等の影響による保有債券の評価損益の変動と売買損益の合計です。

「債券国別投資比率」、「基準価額変動の要因」は発行通貨ベースで国別に分類して表示しております。

当レポート中の各数値は四捨五入して表示している場合がありますので、それを用いて計算すると誤差が生じることがあります。

投資信託は、値動きのある資産(外貨建資産は為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。後述のリスク情報とその他の留意事項をよくお読みください。

当資料は、日興アセットマネジメントが当ファンドの投資信託説明書(交付目論見書)を補足することなどを目的とし、投資家の皆様に当ファンドへのご理解を高めていただくために作成した販売用資料です。

お申込メモ

- 商品分類 : 追加型株式投資信託 / バランス型 / 自動けいぞく投資適用
 お申込単位 : お申込単位につきましては、販売会社または委託会社の照会先にお問い合わせください。
 お申込価額 : お申込受付日の翌営業日の基準価額
 お申込不可日 : 取得申込日が下記のいずれかに当たる場合は、取得のお申込みの受付は行ないません。
 詳しくは、販売会社にお問い合わせください。
 ・英国証券取引所の休業日
 ・ニューヨーク証券取引所の休業日
 ・シドニー先物取引所の休業日
 ・ロンドンの銀行休業日
 ・ニューヨークの銀行休業日
- 信託期間 : 無期限 (平成15年8月5日設定)
 決算日 : 毎月10日 (休業日の場合は翌営業日)
 収益分配 : 毎決算時に、分配金額は、委託会社が決定するものとし、原則として安定した分配を継続的に行なうことをめざします。なお、分配金額は収益分配方針に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。
- ご換金価額 : 換金請求受付日の翌営業日の基準価額
 ご換金不可日 : 換金請求日が下記のいずれかに当たる場合は、換金請求の受付は行ないません。
 詳しくは、販売会社にお問い合わせください。
 ・英国証券取引所の休業日
 ・ニューヨーク証券取引所の休業日
 ・シドニー先物取引所の休業日
 ・ロンドンの銀行休業日
 ・ニューヨークの銀行休業日
- ご換金代金のお支払い : 原則として、換金請求受付日から起算して5営業日目からお支払いします。
 課税関係 : 原則として、分配時の普通分配金ならびに換金時および償還時の差益は課税の対象となります。
 詳しくは、投資信託説明書 (交付目論見書) をご覧ください。

手数料等の概要

- ・お客様には、以下の費用をご負担いただきます。
 < お申込時、ご換金時にご負担いただく費用 >
 ・お申込手数料 : お申込手数料率は、2.1% (税抜2%) を上限として販売会社が定める率とします。
 収益分配金の再投資により取得する口数については、お申込手数料はかかりません。
 ・換金手数料 : ありません。
 ・信託財産留保額 : ありません。
 < 信託財産で間接的にご負担いただく (ファンドから支払われる) 費用 >
 ・信託報酬 : 純資産総額に対して年率1.3125% (税抜1.25%) を乗じて得た額
 ・その他費用 : 組入有価証券の売買委託手数料、監査費用、借入金の利息、立替金の利息 など
 その他費用については、運用状況により変動するものであり、事前に料率、上限額等を示すことができません。
 当ファンドの手数料などの合計額については、投資家の皆様がファンドを保有される期間などに応じて異なりますので、表示することができません。
 詳しくは、投資信託説明書 (交付目論見書) をご覧ください。

委託会社、その他関係法人

- 委託会社 : 日興アセットマネジメント株式会社
 投資顧問会社 : 日興アセットマネジメント アメリカズ・インク
 受託会社 : 日興シティ信託銀行株式会社
 販売会社 : 販売会社については下記にお問い合わせください。
 日興アセットマネジメント株式会社
 [ホームページ] <http://www.nikkoam.com/>
 [コールセンター] 0120-25-1404 (午前9時~午後5時、半休日となる場合は午前9時~正午。土、日、祝・休日は除く。)

お申込みに際しての留意事項

リスク情報

- ・当ファンド (マザーファンドを含みます。) は、主に債券など値動きのある証券 (外貨建証券は為替変動リスクもあります。) を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、投資家の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金が割り込むことがあります。
- ・当ファンドの主なリスクは以下の通りです。
 - 【価格変動リスク】一般に公社債は、金利変動により価格が変動するリスクがあります。一般に金利が上昇した場合には価格は下落し、ファンドの基準価額が値下がりする要因となります。ただし、その価格変動は、残存期間・発行条件などによりばらつきがあります。
 - 【流動性リスク】市場規模や取引量が少ない場合、組入銘柄を売却する際に市場実勢から期待される価格で売却できず、不測の損失を被るリスクがあります。
 - 【信用リスク】一般に公社債の発行体にデフォルト (債務不履行) が生じた場合またはそれが予想される場合には、公社債の価格が下落 (価格がゼロになることもあります。) するリスクがあります。
 - 【為替変動リスク】外貨建資産については、一般に外国為替相場が当該資産の通貨に対して円高になった場合には、ファンドの基準価額が値下がりする要因となります。

その他の留意事項

- ・当資料は、日興アセットマネジメントが「高金利先進国債券オープン（毎月分配型）/愛称：月桂樹」の投資信託説明書（交付目論見書）を補足することなどを目的とし、投資家の皆様に当ファンドへのご理解を高めていただくために作成した販売用資料です。
- ・投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、銀行など登録金融機関で購入された場合、投資者保護基金の支払いの対象とはなりません。
- ・投資信託の運用による損益は、すべて受益者の皆様に帰属します。当ファンドをお申込みの際には、販売会社より、投資信託説明書（交付目論見書）などをあらかじめ、または同時に お渡ししますので、必ず詳細をご確認の上、お客様ご自身でご判断ください。

設定・運用は 日興アセットマネジメント株式会社
 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第368号
 加入協会：（社）投資信託協会
 （社）日本証券投資顧問業協会

お申込みは

金融商品取引業者等の名称	登録番号	加入協会		
		日本証券業協会	(社)日本証券投資顧問業協会	(社)金融先物取引業協会
株式会社秋田銀行	登録金融機関	東北財務局長（登金）第2号		
株式会社SBI証券	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第44号		
株式会社関東つくば銀行	登録金融機関	関東財務局長（登金）第44号		
株式会社紀陽銀行	登録金融機関	近畿財務局長（登金）第8号		
株式会社京葉銀行	登録金融機関	関東財務局長（登金）第56号		
株式会社滋賀銀行	登録金融機関	近畿財務局長（登金）第11号		
静銀ティーエム証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長（金商）第10号		
ジョインベスト証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第91号		
湘南信用金庫	登録金融機関	関東財務局長（登金）第192号		
株式会社中国銀行	登録金融機関	中国財務局長（登金）第2号		
東京海上日動火災保険株式会社	登録金融機関	関東財務局長（登金）第135号		
株式会社東和銀行	登録金融機関	関東財務局長（登金）第60号		
株式会社栃木銀行	登録金融機関	関東財務局長（登金）第57号		
日興コーディアル証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第129号		
株式会社百五銀行	登録金融機関	東海財務局長（登金）第10号		
株式会社百十四銀行	登録金融機関	四国財務局長（登金）第5号		
フィデリティ証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第152号		
株式会社福井銀行	登録金融機関	北陸財務局長（登金）第2号		
株式会社北洋銀行	登録金融機関	北海道財務局長（登金）第3号		
株式会社北國銀行	登録金融機関	北陸財務局長（登金）第5号		
株式会社みちのく銀行	登録金融機関	東北財務局長（登金）第11号		
水戸証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第181号		
楽天証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第195号		